

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                     |     |        |                    |
|----------------|---------------------|-----|--------|--------------------|
| ○事業所名          | みらいりんく系満            |     |        |                    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025 (R7) 年 4月 1日   |     | ～      | 2026 (R8) 年 3月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)              | 32人 | (回答者数) | 12人                |
| ○従業者評価実施期間     | 2025 (R7) 年 4月 1日   |     | ～      | 2026 (R8) 年 3月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)              |     | (回答者数) |                    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026. (R8) 年 5月 20日 |     |        |                    |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                               | さらに充実を図るための取組等                                                           |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 1 | こどもの特性に応じた専門性のある支援の提供                      | 保護者へのアセスメントや日々の情報共有を通してこどもの特性を把握し、特性に応じた専門的な支援を職員全員で連携して行っている。職員が共感的に子どもの気持ちに寄り添い、安心して通える事業所となっている。 | 今後も日々のアセスメントを丁寧に行い、職員間の情報共有を密にして専門性のさらなる向上を図る。研修等を通して職員のスキルアップに継続的に取り組む。 |
| 2 | 放課後等デイサービス計画（個別支援計画）の作成と保護者への説明            | 放課後等デイサービス計画は職員全員で話し合い評価したのち作成し、本人支援・家族支援・移行支援を設定して具体的な支援内容を盛り込んでいる。保護者にわかりやすく説明を行っている。             | 保護者のニーズや課題の客観的な分析をさらに深め、より個別性の高い支援計画の作成と丁寧な説明に努める。                       |
| 3 | こどもの満足度と安心感のある通所環境                         | こども一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を心がけ、子どもたちが安心して楽しく通える事業所となっている。十分な活動スペースが確保され、活動に合わせた空間づくりや整理整頓に努めている。           | 引き続き子どもの気持ちに寄り添った支援を継続するとともに、活動内容の工夫を重ね、子どもたちがより一層楽しめる事業所を目指す。           |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                            | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                    |
|---|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 保護者会・きょうだい支援等を通じた家族支援の充実                   | 保護者会は年1～2回の開催にとどまり、家族支援プログラムやきょうだい同士の交流の機会が十分に確保できていない。家族支援についての周知も不足している面がある。               | 保護者会の開催回数を増やすことや、家族支援プログラム・きょうだい向けイベントの企画を検討する。家族支援の取組について保護者への周知を強化する。 |
| 2 | 定期的な面談・子育てに関する助言の機会の確保                     | 保護者面談は要望があった際に実施しており、定期的な面談の機会が設けられていない。                                                     | 年に複数回の定期面談を計画的に実施できるよう体制を整え、保護者と継続的に子育てに関する情報共有や助言の機会を確保する。             |
| 3 | 地域・関係機関との交流機会の拡大、非常時対応・避難訓練の周知強化           | 放課後児童クラブや児童館との交流が二次的なものにとどまっており、地域のこどもとの交流機会が限られている。事故防止・防犯・感染症対応等のマニュアルや避難訓練の保護者への周知が十分でない。 | 地域の児童クラブ・児童館との積極的な交流の機会を企画する。各種マニュアルや訓練内容を保護者会等で説明し、周知の機会を増やす。          |